

## 鹿島市総合教育戦略会議（第2回） 議事録（概要版）

1 開催日時 平成27年7月3日（金）10時28分から12時03分まで

2 開催場所 鹿島市役所3階 庁議室

### 3 出席者等

- ・法定構成員 樋口市長、田中教育委員会委員長、江島教育委員会教育長、中島教育委員会委員、光武教育委員会委員、木原教育委員会委員
- ・市長部局 藤田副市長、橋村総務部長、打上市民部長、大代総務課長兼人権・同和对策課長、土井企画財政課長、橋村福祉事務所長、事務局（総務課職員 江頭、原田）
- ・教育委員会部局 染川教育次長兼教育総務課長、澤野生涯学習課長、藤家教育総務課課長補佐、古川指導主事、永石生涯学習課課長補佐
- ・外部関係 なし
- ・傍聴 なし

### 4 協議又は調整した事項

(1) 第1回鹿島市総合教育戦略会議（5/19開催分）の議事録の取扱いについて

- ・議事録の公表のあり方について、3案を事務局が提案。
- ・3案のうち概要版をホームページに掲載し詳細版を事務局に備え付ける。加えてこのことを市報でお知らせすることです承

(2) アンケート調査結果の報告及び今後のテーマ案について

- ・前回の会議においてテーマを掲げ運営し、そのテーマについてはアンケート調査を行うということの確認。
- ・アンケート結果について報告し、今回第2回目を鹿島の子ども達の学力についてということテーマにしたい。→了承

(3) 協議事項「鹿島の子ども達の学力について」

### 5 出席者の発言

司会：橋村総務部長

1 開会（橋村総務部長）

## 2 市長あいさつ

樋口市長 改めましておはようございます。今回が実質的な最初の会合。私も正直言って色々な市の仕事の中で教育の分野が一番距離感があったと思う。私は市民の、民意を反映している、法律上位置付けられているから、ある意味で皆さんと違うことを言わないといけない。もう一つは全体のこういう資料の取りまとめをしないといけない。仕事としての市長の役割、それから市民としての一個人としての役割がある。そういう意味で、忌憚のない御意見がいたりきたりできればなと思う。鹿島の教育について色々な角度から洗いざらい話をしてもらって、本当に何が問題でどうすればいいだろうかということの御議論をいただければと思う。

## 3 議題

(1) 第1回鹿島市総合教育戦略会議（5/19開催分）の議事録の取扱いについて

（大代総務課長説明 議事録の公表のあり方について ①ホームページに全部を掲載、②ホームページに概要を掲載、③ホームページで概要を掲載し全部を総務課に備付 の3案を提案。）

- ・そのほかに市報がある、市報とホームページ、どちらの方が読者は多い？市報にはこのことはオープンにしないのか？
- ・市報は限られており、その中で全ての行政項目を市民に等しく公表しないとけない。特集ページで何か折を見て、大きな問題があったとき、市民へ公表したい、そういうときに市報で増刷版をやるという形で、普通はこういうものは基本的にはホームページへの掲載と事務局（総務課）の方での閲覧。
- ・公表とすると法律で努力規定があり、丁寧にやった方がいいと思う。スペースがないなら、何日に総合教育戦略会議が開かれてホームページを見たら書いてある、どうしても見たければ来てくださいみたいな市報での書き方はどうか。
- ・教育委員会の会議とも関連するから、昨年までは教育委員会の会議録は項目だけ。今年から少し肉付けした形を作っている。合わせた方がいいという感じはする。
- ・同じにするか、別々にするかどっちかだから、教育委員会の方は教育委員会で最終決定ということにしているわけで、総合教育会議の方はできるだけオープンにした方がいい。
- ・教育委員会とは今のところは別々で動いて、今回の分は法の趣旨にのっとって、要点筆記を公表すると、ただし事務局に来れば全部の議事録が見ることができる。
- ・3番目の案プラス市報ということで、ホームページを主体とした考え方で要点をホームページに載せると同時に市報にホームページへの掲載と総務課の方での閲覧の紹

介を市報の中とする。

橋村総務部長 よろしいでしょうか？（「はい」という発言あり）ありがとうございます。

(2) アンケート調査結果の報告及び今後のテーマ案について

（大代総務課長説明 前回の会議においてテーマを掲げ運営し、そのテーマについてはアンケート調査を行うということの確認。そのアンケート結果を報告し、今回第2回目を鹿島の子ども達の学力についてということテーマにして自由に意見を言っていただく。その後、年度内でふるさと教育、ICT教育、学校以外での過ごし方、放課後対策、社会教育、それから文化スポーツ、いじめ不登校等安全安心、鹿島の子ども達のあり方などこういったものをテーマにしたい。）

- ・このこと自体に意見はない。他の自治体の教育会議でどんな議論があるか自分なりに勉強した。ちょっと気になるのが先生のことが多い。学校で一番大事なのは先生と教科書と思っている。学力が低いから問題になっている。それは生徒が悪いのか先生が悪いのか？
- ・確かに必要だと思う。様々な話を聞く。そういったことも話題の中に入れていっていいと思う。
- ・学校あるいは現場に対する思いを、小学校や中学校のPTAや区長会などと直接フリートークをしてみたい。
- ・教科書の話が出たので、教科書の選定作業についての仕組みを説明しておく。

橋村総務部長 先生方の採用の流れと教科書の決定の流れといった資料を提供したいと思う。

#### 4 協議事項 「鹿島の子ども達の学力について」

（大代総務課長 準備資料（佐賀県学習状況調査結果、学習状況調査意識調査結果、26年度の各小中学校の取組状況）の説明）

- ・小学校や中学校で色々やっているけど、評価してほしい。例えば上がって下がって、あまり意味がなかったのか、何の効果も表れていないのか、その効果を知りたい。
- ・全体的には、小学校の方は比較的県の平均より上の部分もあり、まあまあ良いところと思っている。中学校の方は県の平均を下回っている教科が多いということで、てこ入れをしないとイケない。
- ・ここ何年間かの傾向か？
- ・年によって変わっている。ただ全体的に言えば、20年ぐらい前は県より上だったと

いう記憶がある。

- ・ 小学校を考えると地元の子ども達は地元の学校に行くので、どこでも大体同じぐらいと思っていい。中学校の教育が悪いのは下がっているとするのか、あるいはそこにいる子ども達の質が、（市外の中高一貫校などに）選抜されたところは、当然学力は上がっていくから、鹿島の子ども達が佐賀に行った、武雄に行った、唐津に行ったときはそこが上がる。
- ・ 地域性は悪くないということは言える可能性はある。
- ・ 子どもから直接聞いた話。テストが難しくて分からない。範囲が前もって分かるのであれば勉強すればいいが勉強の仕方が分からないとのこと。時間がかかるけど、学校で分からない人も分からない人なりで分かるように、みんな連れていくような勉強の方法といったものができないのか。
- ・ 資料の中に各学校の取組というのがあって、朝の時間とか放課後の時間とか先生方は休む暇もないくらいやっている。先だって学力向上推進委員会を開催し各学校の取組をお話いただいた。昼休みといった時間を潰してやってもらっている。
- ・ 先生がそれだけされて、子ども達ができないというのは子ども側に問題があるのか、教える側に問題があるのか、そこがよく分からないままでは結局解決できないかなと心配。原因は何だろう。
- ・ まだまだ徹底が足りないし、継続が足りないからだと思う。それを解消するには、どうしても時間が減るし、人手が足りなかったら、人手を何とか入れないといけない。少人数学級の導入など
- ・ クラスの人数と学力、関係ある？
- ・ あると思う。
- ・ 同じ教育をしていても受け入れる子ども達の構えで学力は変わってくると思う。ここは総合教育戦略会議だから、そういう子ども達を作らないといけないと思う。勉強には一生懸命集中して取り組むぞというような、そういう子ども達を作るには、学校はもちろん大事で、学校以前の問題があると思うので、そこを鹿島市全部でバックアップするというか、そういうのを盛り込みたい。家庭教育だけに押し付けるのではなくて、地域の教育力なども含めて
- ・ テレビとゲームをなくしたら上がると思う。しかし、それを無くせないというところが問題。それは地域も家庭も
- ・ 勉強する時間は最低限これだけはと先生からも言ってほしいし、学校がこう言うのであれば勉強しないといけないと、建前でも親は言えるのかなと思う。
- ・ 比較するのが一番分かりやすい、昔は勉強して、今はゲームみたいなものばかり、

昔は 50 人、今は 30 人、家族も昔は大家族、今は少子化。

- 前は 50 人以上いたけど、学校に行けば静かに話を聞いておかないと分からない、当然話を聞かないといけない。今の子ども達を見ていると 20 人か 25 人ぐらいしかいないけど、先生の話がおもしろくなかったら、騒動するのは当たり前のことというように見える。
- 一つ思うのは子どもに教える内容のレベルがあまり上がりすぎているのかという気がする。子ども達がそれについていけないレベルになってしまっているのでは。我々のころは 3 年生のときに九九は習っていた。今は 2 年生で習っている。
- 昔は土曜日があったから、授業日数は多かった。今は減っている。そうすると昔のようにはできない。逆に量そのものも少ない。そうするとレベルが上がるということとはちょっと考えにくい。漢字の数も、英単語の数も減っている。
- それはいつと比較するかが問題。
- やはり家庭と子どもが以前と変わってきた。社会そのものも変わってしまっているから。社会が進歩しすぎたということの弊害もあるかなと思う。
- 朝、子ども達の登校が遅い。聞いてみたら、夜遅くまでゲームしていたので朝起きることができないと。もう少し家庭が早く起こしてご飯を早く食べさせる、そういうところが一番大切ではと思う時がある。
- 我々がこの会議で整理をしないといけないことは、まず学力が高い低いことについて問題があると思うのかどうか。向上しないといけないと思うなら、何故上がっていないのか、原因が分からないと取組ができない。学力向上していない、昔より低いのか去年より低いのか分からないが、ここに問題がある、一つでなくてもいいけど、それをやめればいいのか、取り除けば違う方向に代替する、そしてどの辺までもっていくという話になる。せつかく色々されているので、一番知りたいのはそうやってどうなったのかということ。効果があったならやればいいし、なかったならやめればいい、取組だったら効果が分からないといけない。評価が必要、それでこうしましょうとかああしましょうとか言わないといけない。
- 先生方はそれぞれ危機感を持っていらっしゃると思う。直さないといけないという意識は持っていらっしゃる。学習状況調査結果から観点率が出され、いわゆる基礎基本知識技能が低いのか、活用がどうなのか、意欲はどうなのか、悪いところはてこ入れをしようということ色んな方法をとっていらっしゃる。
- 何年間か積み重ねた結果を知りたい。先生が頑張らなかったという結論を引き出したいのではなく、違うところを頑張ったのではないか。年によって違うというのは担任の先生が年によって違うということも成り立つ。

- ・部活動で一生懸命だからちょっと勉強の方は疎かになるということはあるでしょうね、そしたら学力もトータルで考えないといけないということにもなってくる、運動も含めた学力と
- ・部活動にもそれなりの良いところがある。特に生徒指導の面で、あるいは礼儀とか。部活動を極端に減らしたら逆にそっちの方で苦勞するというこも出てくるかと。
- ・資料で見ると、平成 26 年度の 6 年生は市の平均は高いのに、中 1 になって 27 年度は下がっているという中 1 ギャップみたいなものがあるのか、何人かが他所に行っているからと見るのか、あるいは部活が強くなったから時間がとれていないと見るのか。
- ・先生達の教育レベル、教えるレベルは前とするとあがっていると思う。
- ・そうかもしれない。そうだとすれば我々が世の中に先生は一生懸命されているけど、子ども達と家庭の方でちょっと頑張りましょうというふうに展開しないといけない。
- ・レベルがあがっているのかどうかという話は難しい。ただ最近では初任者とか 2 年目とかいう中でメンタルが出てきている。新卒で指導する人の中にも指導力の課題がある人がおり、逆に講師をずっとやっていらっしゃる先生、採用試験を受けないような先生方にも優秀な方はいらっしゃる。先生になりたいという強い気持ちでなされる先生は、それなりに頑張っていられらっしゃると思う。採用試験等ではそこまでみれていないと思う。
- ・この表を見ていれば、去年も今年も中学校の数学というのが極端に落ちている。教える側でなくて習う側に問題があるのではないだろうかという読みとり方もできる。
- ・原因がどっちにあるのかあるいは両方にあるのか、全体を分析してみてくださいないと。そこを改善しないと。
- ・昔と今と学校に滞在する時間はどうか？
- ・以前は、子ども達は長くいて先生達と接触する時間は多い。今、先生が学校にいる時間は極端に長い。これも問題だと思う。
- ・先生は遅くまでいらっしゃる。子ども達に教える時間だけではなくて、色々書類を作って、そんな時間がものすごくとられていると思う。
- ・私達のころを考えると、掛け算の九九で、今日は五の段と言われると、五の段をちょっとでもつかえたらやり直しをしながら、全員完璧に覚えるまで帰られなかったというような時代もあった。今はどうなのか。部活の練習とか言って帰る、あるいは塾ですとか言って帰るのが多いんじゃないかな。
- ・今ある会社の社長さんで、人にできないすごい能力を持っていらっしゃって、だから必ずしもそこ（学力）だけではないと思う。

- ・学力向上というのは小学校に入ってからだが、その前の幼稚園、保育園の教育の仕方は絶対違うと思う。学力向上に関係するかなと、そこから小学校 1 年生に入ってきたときに違うかなと思う。
- ・どちらかが学力が高いというのは聞いたことはない。

## 5 その他

橋村総務部長 資料があればまた次回に、資料が教科書の選定の関係、教員採用の流れなど、それとテーマといたしまして先生方の指導のあり方というふうなくくりでテーマとしてあげたいと思う。それプラス市長から冒頭にありましたように、PTAの方、区長さんあたりとも話をしまして市民の民意がどこにあるのかというのを咀嚼しながら今後進めさせていただきたいと思う。次回は、8月6日ということでもよろしいでしょうか。分析もある程度・・・ほかに資料を準備してくださいとかありましたら私達への電話でも結構ですので連絡いただければ準備しますのでよろしく願いいたします。今日は別添資料に秋田県の取組とか差し上げていますので、あとだってお目通しをお願いしたいと思います。

樋口市長 おもしろいのは、秋田県はもちろん教育の先進地だけれども、学校給食も秋田県が全国一。

江島教育長 体力も北の方がいい。南の方は悪い。

・次回開催日 8月 6日（金） 10時 00分から

## 6 閉会（橋村総務部長）